【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【公表番号】特表2013-536201(P2013-536201A)
【公表日】平成25年9月19日(2013.9.19)
【年通号数】公開・登録公報2013-049
【出願番号】特願2013-525089(P2013-525089)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/48　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/38　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/46　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/28　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/145　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/48
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　47/46
Ａ６１Ｋ　37/26
Ａ６１Ｋ　39/145
Ａ６１Ｋ　39/00　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月17日(2014.7.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
－セグメントが結合剤により一緒に結合しているプレート成形材料の複数のセグメントを含む外側の液体密封性外殻；並びに
－１以上の活性物質及び適切な賦形剤を含む内部製剤；を含む
腸溶性コーティング経口医薬組成物。
【請求項２】
プレート成形材料が胃内ｐＨ環境で不溶性である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
プレート成形材料が約５．５未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項４】
プレート成形材料が約６未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項５】
プレート成形材料がセルロース及びその誘導体からなる、請求項２～４のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項６】

結合剤が胃内ｐＨ環境で不溶性である、請求項１～５のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項７】
結合剤が約５．５未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項８】
結合剤が約６未満の胃のｐＨにおいて不溶性である、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項９】
結合剤が７以上の小腸内ｐＨにおいて溶解性である、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
結合剤が６以上の小腸内ｐＨにおいて溶解性である、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
結合剤が小腸の自然の酵素分泌物により分解可能である、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
結合剤が脂肪酸又は脂肪酸を含む混合物からなる、請求項６～１１のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
脂肪酸がステアリン酸からなる、請求項１２に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
活性物質が医薬活性物質からなる、請求項１～１３のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
医薬活性物質がワクチン製剤からなる、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
ワクチン製剤がインフルエンザワクチン製剤からなる、請求項１５に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
医薬活性物質がインスリン製剤からなる、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
適切な賦形剤が少なくとも１つの酵素阻害剤を含む、請求項１～１７のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１９】
治療に使用するための、請求項１～１８のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項２０】
哺乳動物における活性物質の腸溶性の送達システムであって、該システムが
－セグメントが結合剤により一緒に結合しているプレート成形材料の複数のセグメントを含む外側の液体密封性外殻；並びに
－１以上の活性物質及び適切な賦形剤を含む内部製剤；を含む
経口組成物を投与することを包含するシステム。
【請求項２１】
プレート成形材料が胃内ｐＨ環境で不溶性である、請求項２０に記載のシステム。
【請求項２２】
プレート成形材料が約５．５未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項２０に記載のシステム。
【請求項２３】
プレート成形材料が約６未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項２０に記載のシステム。
【請求項２４】
プレート成形材料がセルロース及びその誘導体からなる、請求項２１～２３のいずれか

１項に記載のシステム。
【請求項２５】
結合剤が胃内ｐＨ環境で不溶性である、請求項２０～２４のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項２６】
結合剤が約５．５未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項２５に記載のシステム。
【請求項２７】
結合剤が約６未満の胃内ｐＨにおいて不溶性である、請求項２５に記載のシステム。
【請求項２８】
結合剤が７以上の小腸内ｐＨにおいて溶解性である、請求項２５に記載のシステム。
【請求項２９】
結合剤が６以上の小腸内ｐＨにおいて溶解性である、請求項２５に記載のシステム。
【請求項３０】
結合剤が小腸の自然の酵素分泌物により分解可能である、請求項２５に記載のシステム。
【請求項３１】
結合剤が脂肪酸又は脂肪酸を含む混合物からなる、請求項２５～３０のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項３２】
脂肪酸がステアリン酸からなる、請求項３１に記載のシステム。
【請求項３３】
活性物質が医薬活性物質からなる、請求項２０～３２のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項３４】
医薬活性物質がワクチン製剤からなる、請求項３３に記載のシステム。
【請求項３５】
ワクチン製剤がインフルエンザワクチン製剤からなる、請求項３４に記載のシステム。
【請求項３６】
医薬活性物質がインスリン製剤からなる、請求項３３に記載のシステム。
【請求項３７】
適切な賦形剤が少なくとも１つの酵素阻害剤を含む、請求項２０～３６のいずれか１項に記載のシステム。